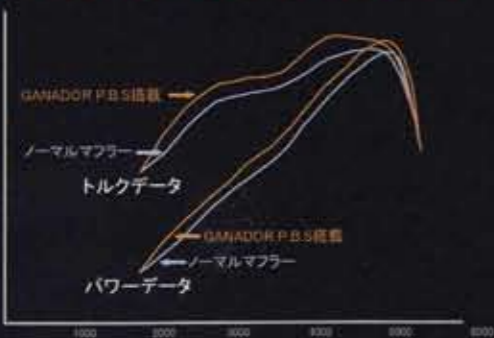


公平を期す3つの決め事

①同じ距離を、②同じアクセルワーク（同じ加速/同じスピード）、③同じ走行時間で、市街地や高速道路など状況を設定。ノーマルとガナドールマフラーをそれぞれ装着し、燃費の測定を行なった。総走行距離157.5km、天候は晴れである。



■FJクルーザー サークルテール4本出しパワー&トルク表



装着マフラー	パワー (ps)	トルク (kg・m)
ノーマル	260.8	39.5
ガナドールP.B.S	269.7	41.2

装着マフラー	走行距離 (km)	給油量 (L)	燃費向上率
ノーマル	157.5	18.28	—
ガナドールP.B.S	157.4	16.58	10.2%アップ

燃費だけでなくパワー&トルクも計測。パワーは8.9ps、トルクは1.7kg・m向上した。また燃費向上率は10.2%と2ケタを記録。

同時に、製品にかける開発陣の熱意が伝わってくる。というところで、実際にテスト結果は左の表の通り。天候は晴れで、走行距離157.5km。給油量はノーマルが18.28リットルに対してガナドールP・B・Sマフラーは16.58リットルと、1.7リットルの差。パーセントに直すと、実に10.2%も燃費向上している。

同じ条件で、ここまで差が出るというのは、マフラーが高性能という証拠と言える。ちなみにパワー&トルクも計測し、パワーで8.9ps、トルクで1.7kgもアップしている。数値の向上はアクセルワークで感じる事ができ、街乗りでの信号スタートも気持ちいいし、高速道路などでの合流でスムーズに流

「出足がもっとと良くなればなあ」「こーい番、もっとパワーになればなあ」と、エンジン性能に不満を持つ時があるだろう。FJクルーザーの1GR-FEエンジンはとてもよくできたエンジンで、カタログにはエンジン特性の表すらないが、4000ccの排気量が織りなすパワー感だけでなく、デュアルVVT-i（吸排気連続可変バルブタイミング機構）によってエンジン自体のレスポンスも良く、とても軽快に回る印象を受ける。

とはいっても、重量があるFJクルーザーなので、スタート時の重たさや高速道路での合流など、通常よりアクセルを踏み込む時は、いくらパワーなエンジンでもどうしても不満を覚えてしまう。

そこでエンジンチューンとなるわけだが、エンジンチューンと違って真っ先に思い付くのが、エアクリナーの交換やマフラーの交換だろう。特にマフラーは性能アップだけではなく、リアビューのドレスアップとしても効果的なパーツなので、関心度が高い。

さて、FJクルーザー用マフラーをリリースするのが「ガナドール」ブランドでお馴染みのマツショウ。FJクルーザー用だけではなく、ランドクルーザー200&100・シグナスといった4WD/SUV系からミニバン、そしてハイブリッドカー、さらには商用車まで、数



■マツ・ショウ
〒340-0002 埼玉県草加市青柳 8-64-2
TEL.048-935-1130 FAX.048-931-2242
http://www.ganador.co.jp/



吸排気系のチューンナップとって真っ先に思い付くのがマフラー交換性能だけではなくドレスアップという点からも効果が大きいパーツである。ここでは人気の「ガナドール」マフラーにスポットを当ててみることにした。本当のところ、性能はどうなのか？ 実際にテストを行なってみた

パワー&トルクだけではなく燃費も向上 ガナドール「4WD Vertex」マフラー



P.B.S.の特徴であるテール内部のスパイラルフィン構造。排気を整流する効果がある。

多くの車種のマフラーをリリースしている。そのガナドールマフラー最大の特徴がP・B・S（パワー・ベストシステム）。パワーアップだけではなく、燃費向上まで果たすという。

今の時代、燃費はともある存在。「本当に？」と疑ってしまうのも無理はない。そこで今回は実際にテストしてみることにした。

さてそのテスト方法なのだが、同じクルマでノーマルマフ



テスト車両は、まだ納車されたばかりという新車の状態。マフラーは、4本出しサークルポリッシュテールを装着。

実はこの方法、マツショウの開発テストと同じで、このように実際に走行してテストを行なっているというわけだ。なので、例えば高速道路で事故渋滞に巻き込まれてしまうと、テストは中止。しかも向かい風や気温変化によっても数値は変化する。その場合でもマフラー装着前後を再計測するという。ここまでこだわってテストを行なっているのか！と驚くと

ガナドールP.B.S.マフラー（FJクルーザー用ラインナップ）（右ハンドル国内仕様）



■ダウンテール 価格：102,900円
■4本出しスクエアテール 価格：207,900円



■4本出しサークルブルーテール 価格：228,900円
■4本出しサークルポリッシュテール 価格：207,900円

といえは気になるのが車検の話だろう。実はアフターパーツのマフラー装着は、2010年4月から状況が大きく変わっている。それは「2010年4月、消音器に関する新規制」という、通称「マフラー新規制」が施行されているからだ。

このマフラー新規制は、加速走行騒音防止を目的とし、国土交通省認可の検査機関において加速騒音試験と近接騒音試験を行ない、認証を取得し表示するというもの。つまり認可がないマフラーは、車検に通らないということである。ただし、この新規制には対象車両があり、

2010年4月1日以降に生産された車両が新規制対象になる。つまり2010年3月31日までに生産された車両は、新規制対象外ということになる。もちろんガナドールマフラーは、きちんと認可を取得している車検対応品で、安心して装着することが出来る。

実際に開発テストと同じ状況で行なった今回の取材、また実際に乗ってみて、アクセルのリア感、マフラーサウンドなど、FJクルーザーの性格に合わせてチューニングが施されていた。開発の苦労、そして性能向上が感じられた。

※左ハンドル逆輸入車用もあり。詳しくはお問い合わせください。